

解 答

問1 長安 問2 チベット

問3 イ 問4 薬

問5 ウ 問6 足利義政

問7 畳がしかれ、明障子や床の間、違い棚がある。

問8 宇治

問9 豊臣秀吉による朝鮮侵略のとき、大名が朝鮮の陶工を日本に連れてきたこと。

問10 鉄砲

問11 (例)

中国からもたらされた茶は、鎌倉時代には僧を中心に薬として飲まれた。室町時代になると、武士や商人の間で、ぜいたくな趣味として楽しまれた。その後、茶の湯が発達し、戦国時代に文化的な価値が高められ、江戸時代には武士のたしなみの一つとなった。また、江戸時代には茶を飲む習慣が庶民にも広まった。

問12 エ 問13 イ

問14 ア

問15 (1) 米が低地で栽培されているのに対し、茶は台地・丘陵で栽培されている。

(2) 都心に通う人々が住む住宅地が広がっているから。

問16 エ

問17 (例)

持ち運びやすく、キャップをしめれば保存もできるペットボトルに入った茶が、自動販売機やコンビニエンスストアで手軽に購入できるようになっている。このため、緑茶をいれるために茶葉を購入した金額に代わって、飲料として茶を購入した金額が増えてきているから。

解 説

問2 地図の斜線で示された地域はチベットとよばれています。チベットでは2008年に、中国の全人口の90%以上を占める漢民族とチベット民族との貧富の差が拡大したことや、中国政府による支配に不満をもつ人々の一部が暴動を起こしました。また、武装した警察の力で暴動を抑えた中国政府の対応や政策に抗議をする人たちが、北京オリンピックの聖火リレーを妨害し、世界各地で混乱が起きました。

問3 全国各地に国分寺がおかれるようになったきっかけは、奈良時代の741年に聖武天皇が国分寺建立の詔を出したことです。

問6 銀閣は応仁の乱の後、足利義政が京都の東山に建てた別荘です。義政の死後、慈照寺という寺になりました。

問7 書院造は寝殿造から発展してつくられた建築様式で、今日の和風住宅のもとになっています。

問8 宇治市には、藤原頼通によって建立された平等院があります。なかでも、現在の10円硬貨にも描かれている平等院鳳凰堂は有名です。宇治市は、高級茶の産地としても知られています。

問9 全国統一後、海外に目を向けた豊臣秀吉は、明を征服しようとして、朝鮮に協力を求めました。しかし、朝鮮に断られたため、文禄の役、慶長の役の二度にわたって朝鮮に大軍を送りました。この時、朝鮮から日本に強制的に連れてこられた多くの陶工によって萩焼、有田焼、唐津焼、薩摩焼などがつくられるようになりました。

問10 ポルトガル人から伝わった鉄砲は、堺や国友などで製造され、広がっていきました。

問13 2008年の統計で茶の生産量が多い都道府県は、静岡県→鹿児島県→三重県→宮崎県→京都府の順です。静岡県が全国生産量の約40%を占めています。

問14 2008年の統計でみかんの生産量が多い都道府県は、和歌山県→愛媛県→静岡県→熊本県→長崎県の順になります。

問15 (1) 茶の栽培には、比較的水はけの良い台地や丘陵地が適しています。埼玉県では狭山丘陵一帯での栽培がさかんです。狭山茶はおいしいお茶として知られています。

問16 写真は防霜ファンと呼ばれる装置です。茶の芽が出る春に、上空数メートルの比較的温暖な空気を冷え込んだ地表付近に送り込んで、霜が降りるのを防ぎます。